



今年度を振り返り、総会に向けて



会長 市原 美幸

「府中がんケアを考える会」の皆様へ

春光を浴びた緑まぶしい季節となりました。会員の皆様はいかがお過ごしですか。会では5月の総会と同日行うパネルディスカッションに向けて気持ちを新たにして準備をしている所です。

総会に当たり今年度を振り返りますと、活動の主軸となっている患者会は10回開催し、延べ188人の参加がありました。それぞれ病状や治療内容は違いますが、がん患者であるという共通の立場によりお互い共感し、励まし、そして支え合い、会では出会えた方々がご縁で他のつながりへと広がっていく様子もあり、何よりも参加された方々が笑顔で会場を出て行かれる様子は私たちの励みにもなりました。

しかしながら課題は多く、5月の総会では、会場や運営方法等々皆様のご意見、ご提案を頂きたいと思っております。

講演会



定例の講演会について、昨年5月の「がん診療の誤解を解く～知ってほしいがんの正しい知識～」（講師 勝俣 範之氏）では入場制限をするほどの参加がありました。

しかし、今年1月の「がんになっても働き続けるために～知っておきたい法と制度～」（講師 近藤 明美氏）では25名と予想を下回りました。

第18回定期総会のご案内

日時 5月26日 午後1時半

会場 ル・シーニュー内プラッツ第1会議室

パネルディスカッション

「がんと共に生きる患者力

～それぞれの体験から～」

総会は3時10分から行います。

総会終了後懇親会を開きます。参加費は2,000円です。

「総会案内」をご確認の上、ハガキにてご連絡ください。

本年度の方針であるがん患者への就労支援についての取り組みとしての講演内容でしたが、開催の時期や対象者に合わせてのPRについて反省させられました。少ない参加者の中で一人でもお役にたてることができたとしたら、意味のある講演だったと思います。



協働事業

恒例行事となった6月のあんず祭り(紅葉ヶ丘)では、本年度からバザーを行い、少しばかりですが活動資金の足しになりました。

11月のつながりフェスタ市民協働まつりでは、会の紹介や参加型クイズ形式によりがんケアに関するミニ知識を紹介し、子供から大人まで興味を持つきっかけになったと思います。

恒例行事については会員の皆様にも参加して頂けるにはどうすればよいか、次年度の課題です。このことについても皆様のご提案をお願いします。



他団体との協働活動として、市民と介護を考えるカフェ「オリーブの木」主催の12月と1月の講演会、シンポジウムでは当会の役員がパネリストとして参加しました。

この会でのご縁により2名のがんの当事者が5月の当会初のパネルディスカッションで、パネリストとしてご参加いただけます。

がん当事者のがんと向き合い方や生きる姿勢を伺うことができ、治療の意味や生きる事の意味、日々の生活について考えるきっかけになるのではと期待しています。皆様の参加をお待ちしています。

手記の掲載

会報では本年度より、3名のがん患者さんの手記を頂き掲載しました。がんと診断されてからの心情や病状や検査、治療、その後のがんと向き合い方、情報について等々多くのメッセージを頂きました。文章に表すことは大変なことだと思いますが、快く引き受けて頂けたことに心より感謝申し上げます。次年度も随時掲載いたします。手記や体験談・・・がん患者として伝えたいこと、是非お寄せください。

活動を拓げるために

最後に、当会ではこのような活動の運営を共にして頂ける方を募っております。役員の大半は仕事を持っているため、平日は6時半以降の会議、日曜日患者会の後に役員会を行い運営しております。会計管理に詳しい方も大歓迎です。是非、ご連絡ください

新年講演会

武智 一雄



ここ数年若年、壮年の有名人のがん罹患、死亡が多く報道されています。どの世代であってもがん告知を受けた後の精神的痛み、治療への不安は同じですが、現役世代(この場合は就労中の労働者、家事、子育て中とします。)にはさらに仕事、収入、家庭の不安があります。

1月14日に社会保険労務士の近藤明美さんをお招きして、就労と治療の両立についてお話を伺いました。

がんになっても働き続けるために ～知っておきたい法と制度～

近藤先生は越谷市で社労使事務所を営んでいます。

「がんを経験された方が仕事を辞めずにすんだり、望む再就職ができるよう、相談会や研修・セミナーを通じて、がん患者や医療従事者と雇用する企業側の橋渡しのお手伝いに力を注いでおります。(HP より)」とあるように就業しながら治療を続けている患者さんに、実践的なアドバイスを続けていらっしゃいます。

今回は「治療に役立つ3つの課題」として、1、身体的な課題、2、心理的な課題、3、働き方の課題を挙げられ、主に働き方の課題についてお話をいただきました。(詳しくはホームページに講演要旨があります。)

第1はがん患者の就労と支援の状況です。

職場環境、政府の施策、仕事・治療の両立支援に関する診療報酬などについてお話いただきました。

第2は両立支援ガイドラインについてです。

厚生労働省のガイドラインに沿いながら、企業側が行うべき両立支援のための留意点、進め方、環境整備などです。

第3は仕事を続けたいときに大切な制度です。

休職、配転などの事例をあげ、起こりうるであろう業務上の諸問題を解説いただきました。

第4は知っておきたいお金の制度で、退職した場合の利用可能な制度についてのお話です。

健康保険、年金、傷病手当金、雇用保険、障害年金などについて解説いただきました。



通信前号の「闘病記」でも会員の高橋さんからがんの発症から職場復帰まで、克明な手記をいただきました。がんが治る時代になった、寛解率が高まったといわれて数年たちますが、仕事や日常生活においてはまだまだ厳しい状況が続いていると思います。

現役世代にとっては治療だけでも大変なのに、複雑な社会制度を理解、利用するのはさらに負担を強いられます。会社、行政とも必要に応じて話し合い、交渉をしなければなりません。

今回の講演会は残念ながら25名の参加しかありませんでしたが、会でも一つのテーマとして今後も取り上げたいと思います。

※ 多摩総合医療センターでも社会保険労務士との相談機会を設けるそうです。

患者会より

患者会も57回を数え、7月には60回目となります。年に10～11回開催ですからもう6年になるわけです。継続して参加いただいている方、会員になってくださった方の一方で期待、希望に添えず参加なさらなくなる方もいらっしゃいました。体調が悪化した方、不帰の方がいらっしゃることはつらいことです。

お話を受ける体制も十分とは言えませんが、少しずつ良くしていきたいと思えます。
今年度6月からは会場をプラッツにすることにしました。施設料はかかりますが、移動しにくい患者さんに合わせて変更をすることにしました。(空き状況により変更)皆様の支援をお願いします。

手記のお願い

36号、37号に掲載しました「闘病記」は多くの皆さんに好評を得ました。ご自身、あるいはご家族の記録を多くの皆さんに知っていただきませんか。参考にもなり、力にもなり、気持ちのつながりを感じることもなります。うまく書けなくても構いません。ご連絡、ご相談ください。

会費納付のお願い

会費の納付をお願いします。市施設の有料化などで会の出費が増えています。今後の活動のためにも基盤である財政を強化しなければなりません。5月の総会出席の折か、振込用紙での納付をお願いします。

本年度の行事予定。ホームページ、案内チラシで確認してください。

日時	行事	会場
6月 2日(日) 午前10時～	あんずまつり	紅葉ヶ丘・第2地域公園
6月23日(日) 午後1時30分～	患者会	プラッツ 第7会議室
7月28日(日) 午後1時30分～	患者会	中央文化センター(予定)
8月25日(日) 午後1時30分～	患者会	プラッツ 第7会議室 A
9月29日(日) 午後1時30分～	患者会	プラッツ 第6会議室
10月27日(日) 午後1時30分～	患者会	プラッツ 第6会議室
11月17日(日) 午後1時30分～	患者会	プラッツ 第7会議室
11月25日(日) 午前10時～	府中つながりフェスタ	プラッツ
12月14日(土) 午後1時30分～	講演会	プラッツ 第2会議室
1月26日(日) 午後1時30分～	患者会	プラッツ 第6会議室
2月23日(日) 午後1時30分	患者会	プラッツ 第6会議室

編集後記

2月近所で火事でした。早朝サイレンでたたき起こされました。残念なことに親子お二人がおなくなりになりました。今年は火事が多い様な気がします。NHK ディレクター坂井律子さんのすい臓がん闘病記を読みました。「出生前診断」についての著書もある方です。透徹した文章の本です。

発行 府中がんケアを考える会・会報編集部

連絡先 183-0053 府中市天神町3-7-47 武智 一雄

電話 090-7729-4429

Mail: ktakechi@fuchugancare.org